

### リグリマ・ジャパン

バングラデシュの少数民族、ガロの女性たちの生活支援と経済的自立を目指す活動を現地のキリスト者のグループ「リグリマ・バングラデシュ」と共に支援。当初から決めていたとおり 20 年目を迎える今年 12 月末で活動を終了する。

支援額 40 万円



### サイディア・フラハ

ケニアにある子どもと女性を支援する NGO 団体。日本人とケニア人が共に、児童養護施設と地域の子どものための幼稚園、小・中学校を共同運営するプロジェクト。極度の貧困や病気で親を亡くし、預け先で虐待や育児放棄された女の子を保護・養育し教育、将来の自立に向けて職業訓練も行っている

支援額 40 万円



### 地域支援団体 釜石支援センター望 東北教区

東日本大震災時、日本聖公会釜石支援センターの活動後に設立された地域支援団体。震災後の地域コミュニティ作りを中心に、地元と県内外のボランティアと共に活動している。

支援額 10 万円



## 2024 年度 感謝箱献金

### お献げ先のご紹介

### 国際子ども学校 ELCC 中部教区

フィリピンにルーツを持つ子どもたちのための学校として 1998 年に名古屋青年学生センターが設立、運営。子どもたちが、日本語や日本の習慣を身につけ、就学の準備をするための学校であり、居場所。対象は幼稚園から高校生該当年齢者。昨年は 28 名が在籍。外国人労働者として働く保護者は収入が安定せず、月謝を払うことも難しい状況がある。

支援額 20 万円



### アトゥトゥ ミャンマー

2021 年 2 月、ミャンマーで国軍によるクーデターが起き、民主化を求める人々を武力鎮圧したことにより状況が悪化。今も厳しい戦闘が続いている。日本に滞在するミャンマールーツの人々と共に、毎週金曜日の夜、zoom で「ミャンマーを覚える祈りの会」を開き、草の根の支援活動を行っている。

支援額 20 万円

### NPO 法人ワンダタイム 中部教区

長野県小布施にある新生病院はカナダミッションの精神を受け継ぎ、海外医療協力事業をバングラデシュとネパールで実施。コロナ禍の中断を経て、昨年再開。今年の連休中にもバングラデシュに医師 3 名を派遣し、多くの人々に治療が行われた。

支援額 10 万円



### ムクウェゲ医師の 社会啓発活動の支援

長年にわたり、同医師の活動を支援している日本の RITA-Congo を通じて、埋蔵資源を巡り紛争が絶えないコンゴ民主共和国の女性や子どもを性暴力から守るための啓発活動を支援する。

支援額 20 万円

### 災害被災者・東日本大震災被災者支援積立金

東日本大震災から 13 年経ってもまだ復興途中。その間にも、国内外で災害は起こる。被災者の方々の命と安全が守られることを祈りながら、少しでも早く支援が行えるように資金を準備しておく必要がある。そのために 2023 年から 3 年間、毎年 30 万円を積み立てる。



全国の皆様から 2023 年度にお献げ頂いた感謝箱献金は約 200 万円でした。お献げ先については第 27(定期)総会后第 2 回会長会において審議され、今年は 7 団体へ。

◇2024 年度のお献げ先は、各教区婦人会、日聖婦役員会・感謝箱献金事務局より議案提出され、第 28(定期)総会で審議いたします。